



# 汐見の和

横浜市立汐見台小学校  
令和5年1月25日  
学校だより2月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子  
電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409  
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



## しなやかに、そして力強く

副校長 中西 建介

二十四節気の最初の節である立春も間近になり、窓から差し込む日差しが少しずつ目にまぶしく暖かく感じられるようになってきました。厳しい寒さが続いています。汐見の森にある木々も枝先に芽を膨らませ、1年生が植えた球根も芽を出し始めました。春の訪れを知らせてくれる植物の変化を見つけると、自然と心も弾みます。

一昨日のことになりますが、校舎内を見回っていると、6年生の教室に飾られている卒業式までのカウントダウンカレンダーが目にとまりました。1月23日は卒業式まであと「38日」。このカレンダーには、カウントダウンの数字とともに「みんなで協力して思い出に残る1日にしよう!」というメッセージがありました。そのメッセージから、6年間の締めくくりの日々を仲間とともに大切に過ごし、人生の大きな節目の1つである卒業の日を迎えたいという思いが伝わってきました。



学校生活の節目が近づくこの時期になると、竹にまつわる話題が出されます。それは、空に向かって真っすぐに成長する竹の様子がすくすくと成長する子どもの姿に似ているといわれるからです。昔から私たちの身近な存在である竹は、種から発芽するまでに4年以上もかかり、その間に地下で1年間に7~8mもの根を張って地上の竹を支える準備をすといわれています。やがて、芽を出した竹は、節ごとに成長点をもつことで1日に80~100cmも成長し、2か月で約20mの高さにもなります。背の高い竹は、しっかりと根を地中に張り巡らせ、たくさんの節があることで、強い雨風が当たったり多くの雪が降り積もったりしても耐え忍ぶしなやかさと強さを兼ね備えています。目に見える成長の様子とともに目には見えない成長を支える力のあり方は、人の生き方に通じる場所があります。節をつくり、外からの力をしなやかに、そして力強く受け止め成長する竹の姿は、子どもが目標に向かって粘り強く取り組もうとする姿そのもののように感じます。また、子どもたちの学びの過程で、目に見える結果や成果だけでなく、それらにつながる地道な努力や土台づくりの大切さを教えてくれるようにも感じます。

これまで、子どもたちは学期等の区切りや運動会や校外学習等の学校行事で、自分が立てためあてを達成することはできたか、どのような力が身に付いたか、今後の学校生活に生かせることは何かなど、自分の取組を振り返ってきました。また、それ以外の様々な学習や生活の中でも、できるようになったこと、最後までやり遂げたこと、一歩踏み出す勇気をもてたことなど、自分の姿を見つめてきました。そうした振り返りを重ねることで、子どもたちは自己の成長を実感しながら、しなやかに力強い竹のように成長するための節づくりへとつなげてきました。ときには、悩んだりつらかったりしたことがあっても、それを乗り越えることで丈夫な節をつくり、一回りも二回りも自分を大きく成長させてきました。



今年度の学校生活も残り約2か月となり、1~5年生にとっては1年間の締めくくり、6年生にとっては6年間の締めくくりの時期になりました。まもなくやって来る春に子ども一人ひとりが心を躍らせ、よいスタートを切れるように、子どもたちとしっかりと準備を進めていきます。今後も保護者や地域の皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。